

予約採用

2026年度 日本学生支援機構奨学金 大学等奨学生採用候補者(予約採用者)の手続方法について

予約採用者とは、高等学校等在学中に奨学金の採用候補者として「内定」している方のことです。

高等学校等在学中に日本学生支援機構奨学金の2026年度採用候補者となった方は、以下の手続方法を確認のうえ、提出書類を揃えて郵送で提出してください。※提出書類はP.2「3.提出書類」に記載

また、例として「給付型の採用候補者だが、貸与型(第一種/第二種)を新たに追加したい」場合は、貸与型について「在学採用」への出願が必要です。「在学採用」の出願書類・提出方法の詳細は、「⑦募集要項」で確認してください。必要書類はすべて本学ウェブサイトからダウンロードし、提出は郵送となります。特別な事情を除き、窓口での手続きはありません。

予約採用者の書類提出期限:4月7日(火)【必着】。

- ・入学後の奨学金に関する連絡はTKUポータルで通知します(ログイン方法は3月下旬配信予定の学生生活オリエンテーションで案内)。見逃しに注意し、学生本人が責任を持って手続きしてください。
- ・書類提出・インターネット入力等は、締切後はいかなる理由でも受付できません。
- ・問合せは学生本人からのみ受け付けます。(方法はP.6[参考3]参照)。

※2025年1月1日～2026年3月31日の間に、生計維持者の死別・離婚等により生計維持者1名で申請する方(住民税情報上、多子世帯と判定できない場合)は、学生課奨学金窓口へ申し出てください。

1. 提出書類受付期間・提出方法

提出書類受付期間	2026年3月23日(月)～4月7日(火)【必着】 ※3/22(日)以前は受付不可
提出方法	本学奨学金受付センターに郵送にて提出 ※提出書類①「レターパックライト430[I 提出書類郵送用]」を使用(P.4 記入方法を参照)

- ・提出書類(P.2「3.提出書類」参照)をすべて揃え、本学奨学金受付センターへ郵送してください。
- ・書類(①～⑦)提出後、インターネット入力による手続(「進学届」提出)が必要。提出書類確認後、4月1日以降順次、奨学金受付センターから「『進学届』入力の手引き」等を配布するので、それに従って入力してください。
- ・進学届の入力日により初回振込月が変わるため、特に4月の初回振込希望者は余裕を持って早めに提出してください。
- ・書類不備があると「手引き」交付が遅れ、進学届入力も遅れて初回振込が翌月以降になる場合があります。
※初回振込時に4月分からまとめて支給されます。

2. インターネットによる「進学届」入力日と初回振込日

「進学届」入力期間	初回振込日	支給額	採用時期
4/1(水)～4/7(火)	4月21日(火)予定	4月分が支給されます	<4月採用>
4/8(水)～4/21(火)	5月15日(金)予定	4月分と5月分が合算で支給されます	<5月採用>

- ・提出書類を奨学金受付センターで確認後、「『進学届』入力の手引き」等を**順次返送(発送)**します。
(「提出書類②レターパックライト430[II 本人返送用]」を使用して発送) 3月23日(月)に提出いただいた場合でも、発送は4月1日以降で、出願状況により遅れる場合があります。
- ・「『進学届』入力の手引き」に入力用ユーザID・パスワードが記載されています。入力期間中にそれを使ってインターネット入力(「進学届」提出)を行ってください。入力前に、本学ウェブサイトより「進学届入力下書き用紙サンプル」をダウンロードし、入力する内容を配布する「進学届入力下書き用紙」に下書きしてから入力してください。(正しく入力が無い場合は採用が遅れたり、不採用になります)。

3. 提出書類

- ・詳細は日本学生支援機構(以下、機構)ホームページ掲載の「貸与奨学生(または給付奨学生)採用候補者のおしり」で確認してください。
- ・提出書類①の「レターパックライト 430」を使用し郵送にて提出してください。
- ・記入は、黒のボールペンを使用してください。摩擦等で消せるペンは使用不可。
- ・修正テープ等の使用不可。訂正する際は、二重線で削除し直近の余白に記入してください。

提出書類	給付奨学金 の候補者	貸与奨学金 (第一種/第二種) の候補者	備考
① レターパックライト 430 【Ⅰ 提出書類郵送用】	全員必須	全員必須	提出書類(②～⑦の必要なもの)を入れて郵送にて提出。 宛先等の書き方はP.4の記入方法を確認
② レターパックライト 430 【Ⅱ 本人返送用】	全員必須	全員必須	半分に折って①に必ず同封してください 宛先等の書き方はP.4の記入方法を確認
③ 令和8年度 大学等奨学生採用候補者決定通知 1枚目の【提出用】のみ	全員必須	全員必須	裏面の【進学後記入欄】及び1.～3.の 該当する項目を <u>全て記入</u> して提出のこと。 P.5の記入方法を確認のこと ※2枚目の【本人保管用】は提出しない。 (最下段に進学届のパスワードがあります)
④ 学籍番号通知票 学生証のコピー (表面のみ)	全員必須	全員必須	学籍番号と本人確認のため、 どちらか1点が必要。 <u>A4判用紙</u> に印刷。 ※拡大およびカラー印刷は不要。
⑤ 授業料等減免の対象者の 認定に関する申請書 [A 様式 1]			
⑥ 通学形態変更届(自宅外通学) [様式 35]	該当者のみ (自宅外通学者)		本学ウェブサイトからダウンロードし、 A4判用紙に印刷・記入。 本学ウェブサイトからダウンロードし、 A4判用紙に印刷・記入。本学ウェブサイ ト掲載の <u>記入サンプル</u> を要確認。
⑦ 自宅外通学であることの 証明書類			
			学生本人が居住し、家賃を払っていることが 分かる証明書類の写し。⑥のP.2～3参照。

補足 提出書類サンプル ※掲載画像はイメージであり、実際の印字内容等は変更となる場合があります。

③採用候補者決定通知

令和8年度は
緑色の用紙です

- 【提出用】を提出すること。
※【本人保管用】は提出しない
- ・裏面に記入して提出!
P.5の記入方法を確認のこと
- ・裏面の「現住所欄」は、
授業開始後の住所を記入

④学籍番号通知票

入学手続きマイページから
ダウンロード可能
A4判用紙にコピーし提出

④学生証のコピー

入学の日4/1に発行
A4判用紙にコピー提出
※拡大、カラー印刷不要

⑤授業料等減免の対象者の 認定に関する申請書

右上日付および中段以下の
太枠内のすべての項目を
申請者本人が記入。

4. 「進学届」提出後の手続について

・「進学届」をインターネットで正しく提出(入力完了)すると、初回振込日に指定口座へ奨学金が振り込まれます。

◆ 給付奨学金: 自宅外通学の方

- ・ 提出された自宅外通学関係書類 (P.2⑥・⑦) は大学から JASSO (機構) へ提出します。
- ・ 機構で審査完了後 (採用から約 2~3 か月後)、自宅外通学となった月にさかのぼって差額を含め、自宅外月額が支給されます。

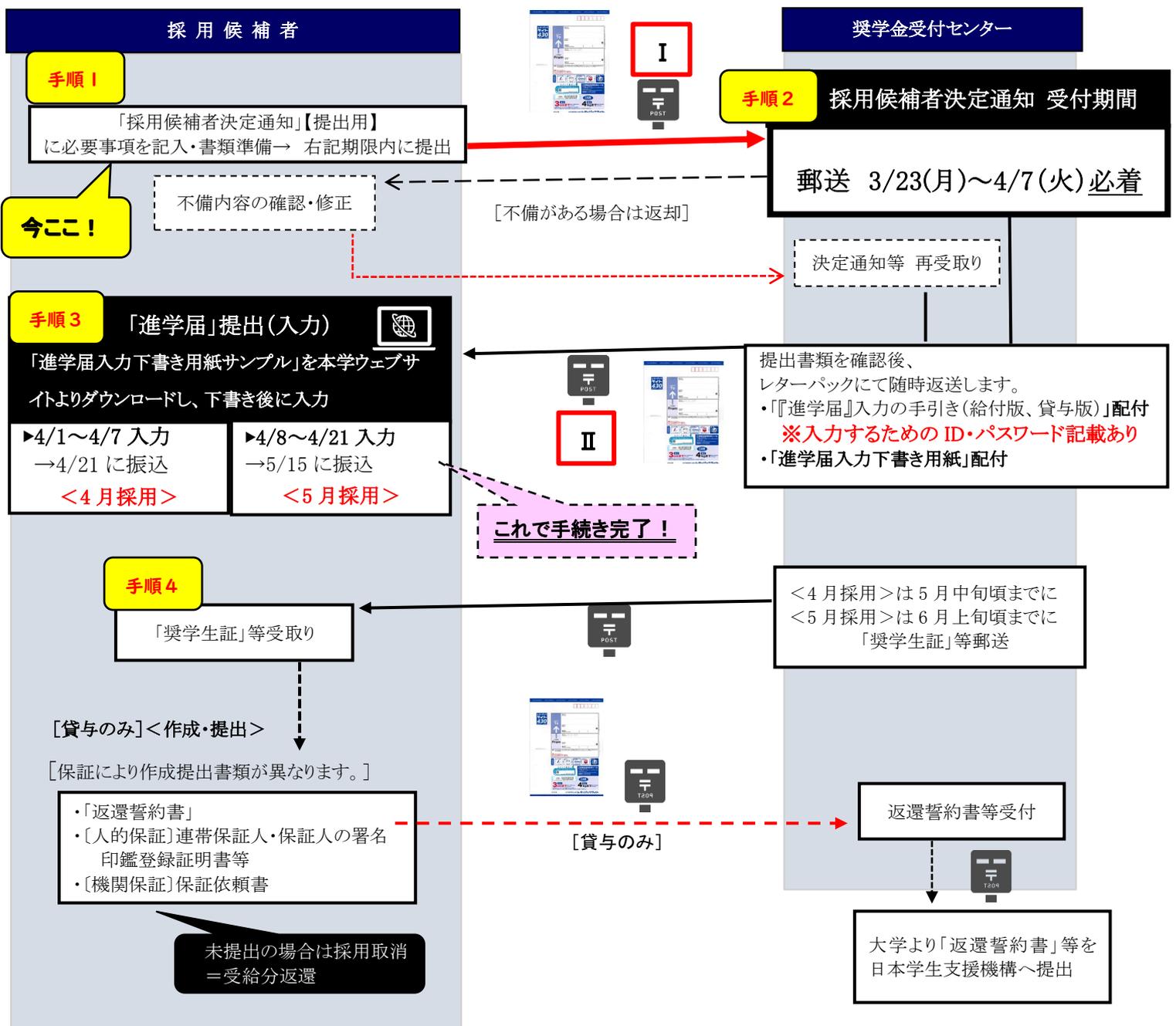
・ 初回振込が 4 月の方: 5 月中旬頃 (5 月初回振込の方: 6 月上旬頃 / 6 月初回振込の方: 7 月上旬頃) に、「奨学生証」(貸与奨学生は「返還誓約書」含む) 等を学生本人住所宛てに郵送します。

・ 貸与奨学生は返還誓約書等の提出が必要です。詳細は 5 月以降に TKU ポータルでお知らせします



採用候補者のしおり

補足 採用決定までの流れ ※「貸与奨学生(もしくは給付奨学生)採用候補者のしおり」も参照のこと。



5. 提出書類のレターパックライト 430(青) 記入方法

① レターパックライト 430[I 提出書類郵送用] 記入方法

※提出は必ずレターパックライト 430 を使用して郵送のこと。

レターパックライト 430 は、郵便局、一部コンビニで購入可。ポスト投函で郵送可(郵便局窓口へ行く必要なし)。

※レターパックプラス 600 (赤) は使用しないでください。

宛先は奨学金受付センターです。
大学ではないのでご注意ください!
この通りに記入してください
赤枠で切り取りレタパに貼っても可

【お届け先 To】
〒206-8799
多摩郵便局留
東京経済大学 奨学金受付センター
042-328-7759

【ご依頼主 From】
学生本人がいる住所
学生本人氏名
連絡が付きやすい電話番号

【品名】
予約採用 提出書類 (学籍番号または
受験番号)
記入例:
予約採用 提出書類 (26B9999)

「ご依頼主様保管用シール」
郵便局のウェブサイトから配達状況の追跡が
可能です。はがしてご自身で保管してください。

「ご依頼主様保管用シール」貼付

②レターパックライト 430[II 本人返送用] 記入方法

※半分に折り曲げて上記①レターパック
ライト 430 に**必ず同封**してください。

真ん中で半分に折り
郵送用レターパック
に入れる

【お届け先 To】
学生本人 (返送先) がいる住所 (4/1 以降)
学生本人氏名 (学籍番号または受験番号)
連絡が付きやすい電話番号

【ご依頼主 From】空欄 (未記入) のまま提出

【品名】 空欄 (未記入) のまま提出

「ご依頼主様保管用シール」
→はがさないでください。

6. 令和8年度大学等奨学生採用候補者決定通知 の記入方法

- **裏面に記入必須!** おもて面の印字内容に応じて、記入およびチェックをすること
- 記入は、黒のボールペンを使用してください。摩擦等で消せるペンは使用不可
- 切り取って【提出用】のみ提出すること。【本人保管用】は提出しない(進学届入力に必要なパスワードの記載あり!)

おもて面

この通知は、進学後、進学先の学校への提出が必要で、紛失しないよう大切にしてください。

令和8年度大学等奨学生採用候補者決定通知 **【提出用】**

令和7年10月15日

登録番号 9999901-100-00999 交付書類コード=F

学年 3年 10組

氏名 学校用 見本 (A720303030)

4. 99999901 #69999999

給付奨学金
「候補者決定」であればどちらかに☑

国の教育ローンの申込み
「必要」であればどちらかに☑

人的保証
「人的保証」であればどちらかに☑

うら面

【(国内大学等進学者用) 進学後記入欄】

学籍番号	26E0001
学部・学科	経済学部
氏名(カナ)	トウケイ マナブ
氏名(漢字)	東経 学
進学後の住所	〒 ※進学後の住所を記入
連絡先(本人)	※電話番号・携帯番号のどちらかは必ず記入
電話	

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

進学届にて「自宅通学」を選択します(入学より自宅通学となるため)。

進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学より自宅外通学となるため)。

貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込:必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。

※「貸与奨学生採用候補者のしおり」18ページのとおり、事前に「国の教育ローン」の申込み等手続きを行う必要があります。また、進学後に提出する進学届で下記①か②のいずれかの日付情報を入力するため、予め本紙にも日付を記載してください。

①保護者等が日本政策金融公庫から受領した「融資できない旨が記載された日本政策金融公庫発行の通知文」の日付 : 202 年 月 日

②保護者等が「国の教育ローン」の申込みできないことを日本政策金融公庫へ確認した日付 : 202 年 月 日

インターネットで提出する進学届の提出時に、入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(「国の教育ローン」を申し込みの利付つきを併せて申し込みを含まない)

(2) 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック)

連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が**日本学生支援機構の定める条件に合致**することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。

進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)

★本通知【提出用】を紛失した場合には、奨学金の振込開始が大層に遅れますので、紛失しないよう気を付けてください。

～令和8年度大学等奨学生採用候補者決定通知を紛失した場合～

インターネット(スカラネット)より「採用候補者決定通知(簡易版)」をご自身で印刷し、提出してください。

- ・JASSO ホームページ掲載「給付奨学生採用候補者のしおり」P.5～6参照
- ・JASSO ホームページ掲載「貸与奨学生採用候補者のしおり」P.5～6参照

「採用候補者決定通知(簡易版)」の上部余白に、以下の3項目を記入してください。

- ・学籍番号
- ・通学住所
- ・携帯番号



JASSO ホームページ
採用候補者のしおり

[参考1] 採用候補者の皆さんへ(動画)

採用候補者として決定された方向けに、進学後の手続き等の分かりにくい点を動画で詳しく説明しています。申請前に一度は視聴することをおすすめします。

(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/yoyaku/yoyakukouhosha/movie.html>)



[参考2] 【貸与のみ】返還シミュレーション

奨学金貸与・返還シミュレーションを活用すると、奨学金の貸与額や返還額などを試算できます。(http://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/)



[参考3] 奨学金係への問い合わせ方法

- ・入学後(4/1以降)、奨学金手続き等で不明点がある場合は、TKUポータル「質問・相談」機能から学生本人が問い合わせしてください。原則、電話での問い合わせは受け付けません。
- ・TKUポータルの使用方法は、3月下旬にオンライン配信する学生生活オリエンテーションで案内します。

①「質問・相談」タブを選択

TKUポータル HOME 成績・履修 ? 質問・相談 アンケート プロフィール 学事暦

試験時間割

授業情報 manaba

TKUメール Gmail

質問/相談
学生生活に関するご質問はこちらが。ただし、授業・成績・履修・試験に関することは【学務課】窓口へ直接お問い合わせください。

FAQ
学生生活に関するFAQ集です。何かわからないことがあったら、まずここからチェック！みなさんからの相談などを参考に随時更新します。

②「こちら」からをクリック。本文中にリンクがある

TKUポータル HOME 成績・履修 ? 質問・相談 アンケート プロフィール 学事暦

試験時間割

授業情報 manaba

TKUメール Gmail

質問・相談

③「新しい質問」をクリック

回答日	質問内容	カテゴリ
回答済の質問		
回答日	質問内容	回答部署

TKUポータル HOME 成績・履修 ? 質問・相談 アンケート プロフィール 学事暦

試験時間割

授業情報 manaba

TKUメール Gmail

新しい質問

④質問カテゴリで「奨学金」等項目を選択して、質問を入力

選択してください
休学・退学・復学
証明書
課外活動
学費(学部の学費延納)
奨学金
留学
TKU_NET
ポータルサイト

⑤「質問を投稿する」をクリックして完了

戻る 質問を投稿する

・「タイトル」には質問の趣旨を入力してください。
(例: 予約採用の提出書類について)
・「質問内容」には、以下を明記してください。
給付/貸与第一種/貸与第二種の別、郵送前か郵送後か、書類名、該当ページ・該当箇所など。

[参考4]

～給付奨学金と第一種奨学金を併用する方へ～

併給調整に注意！

給付奨学金区分によっては、第一種奨学金貸与額が0円になることがあります。

給付奨学金と第一種奨学金の両方に採用された場合、給付奨学金の支援区分等に応じて第一種奨学金の貸与月額が調整されます(併給調整)。「㊦-A 給付奨学金案内」P.19-2 参照。

【給付奨学金受給中の第一種奨学金の貸与月額(併給調整)】		
給付奨学金区分	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	0円	0円
第Ⅱ区分	0円	0円
第Ⅲ区分	21,700円(20,000円、30,300円)	19,200円
【多子世帯支援拡充の対象者に係る第一種奨学金の利用可能額】		
多子世帯支援拡充の対象者である場合		
支援区分	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分(多子世帯)	0円	0円
第Ⅱ区分(多子世帯)	0円	0円
第Ⅲ区分(多子世帯)	0円	0円
第Ⅳ区分(多子世帯)	0円	0円
多子世帯 ※	0円	5,600円

※これに該当する方は、給付奨学金は支給されませんが、授業料減免の支援により、利用可能額が調整されます。所得にかかわらず、資産額が5,000万円以上3億円未満であることにより授業料減免のみの支援となる方も同額となります。

≪提出不要≫

貸与奨学金を利用される方は、必ず確認してください。

★注意事項

- ・貸与奨学金は借入金です。必ず返還(返済)が必要です。
- ・手続きは学生本人が行います。採用決定後(5月下旬頃)、手続きの年間スケジュールをTKUポータルで配信します。
- ・手続きを怠ると、奨学金の振込保留、返還を伴う採用取消、または廃止となる場合があります。
- ・貸与金額は、「進学届」入力時に変更することができます。

保証制度を選択してください。「貸与奨学生 採用候補者のしおり」p14～17 参照

機関保証 ⇨ 本人以外の連絡先・・・ 父
 母

貸与奨学金 採用候補者のしおり



人的保証 **※保証人を選任できない場合は、「進学届」入力時に機関保証へ変更可能です。**



※人的保証を選択した場合は、連帯保証人と保証人を選任します(必ず事前に承諾を得てください)。

連帯保証人:○ 父・母

保証人:○ おじ・おば・社会人の兄・姉・4親等以内の親族 / × 父・母

※連帯保証人・保証人それぞれに、印鑑登録証明書を準備してもらおうよう、今すぐ依頼してください。印鑑登録証明書は「返還誓約書」提出時に添付が必要です。

連帯保証人	続柄	住民票住所 〒 _____	実印
		電話番号: _____ 携帯番号: _____	
		勤務先: _____ 勤務先電話番号: _____	
		氏名: _____ 生年月日: 昭和・平成 ____年 ____月 ____日	
保証人	続柄	住民票住所 〒 _____	実印
		電話番号: _____ 携帯番号: _____	
		勤務先: _____ 勤務先電話番号: _____	
		氏名: _____ 生年月日: 昭和・平成 ____年 ____月 ____日	

※保証人に 65 歳以上の方(例:祖父母など)または 4 親等以外の方(例:離婚した父母など)を選定した場合、返還誓約書提出時に、別途以下のいずれか 1 点の提出が必要です。

- ◆収入金額 320 万円以上の源泉徴収票等
- ◆所得金額 220 万円以上の課税証明書等

給付奨学金と第一種奨学金の活用について



Q: 給付奨学金を利用していると、第一種奨学金（無利子）が減額されてしまうと聞いて、どのように利用したらよいか悩んでいます。



A: 給付奨学金に採用されると、加えて授業料等の減免をセットで受けることができます。
 どちらも、第一種奨学金と違って原則返還の必要がありません。
 第一種奨学金は調整されますが、不足があれば、第二種奨学金を利用することもできます。

- ✓ 給付奨学金は、授業料等の減免をセットで受けられ、しかも原則返還の必要がありません。
 (住民税非課税世帯の場合、基本的に、給付奨学金+授業料減免の支援額のほうが、第一種奨学金を借りられる額よりも多くなります。)
- ✓ 給付奨学金は、口座への振込となります。授業料減免の支援額は口座には振り込まれませんが、授業料が減免されます。
- ✓ 奨学金として手元に振り込まれるお金を多く確保しておく必要がある場合、第一種奨学金には併給調整(※)があるため、第二種奨学金(有利子)等、さまざまな支援の利用をご検討ください。
 ※【併給調整】給付奨学金と第一種奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の借りられる金額が調整されます。
 (振込額が0円になる場合もあります)。第二種奨学金には併給調整はありません。

【1年間の支援額を比較してみました】

(私立大の2年次以降に在籍している方の例)

・給付奨学金を利用せずに 第一種奨学金を利用した場合



	第一種奨学金 (無利子)		支援額 (年間) B	口座に振り 込まれる金額 (年間) B
	貸与月額 (A)	貸与額(年間) A×12月=(B)		
自宅	¥54,000	¥648,000	¥648,000	¥648,000
自宅外	¥64,000	¥768,000	¥768,000	¥768,000

・給付奨学金と共に第一種奨学金を利用した場合 (住民税非課税世帯の方が満額の支援を受けるケース)

	(返還不要) 給付奨学金		(返還不要) 授業料減免	第一種奨学金 (無利子)		支援額 (年間) D+E+B	口座に振り 込まれる金額 (年間) D+B
	支給月額 (C)	支給額(年間) C×12月=(D)	減免上限額 (E)	貸与月額 (A)	貸与額(年間) A×12月=(B)		
自宅	¥38,300	¥459,600	¥700,000	¥0	¥0	¥1,159,600	¥459,600
自宅外	¥75,800	¥909,600	¥700,000	併給調整により減額		¥1,609,600	¥909,600

※給付奨学金にお申し込みをいただいても、審査によりご利用いただけない場合があります。
 上記の額は最大まで支援を受けることができる場合のケースであり、実際は、支援の区分や学校種別等により金額が異なります。
 調整される第一種奨学金の額も、同様に異なります(給付奨学金を利用しながら、第一種奨学金の貸与を受けることができる場合があります)。